Manulife
マニュライフ生命

当商品は、現在新規募集は行っておりません。

変額個人年金保険

マニュライフの投資型年金
ManuSolution
マニュソリューション

# マンスリー　パフォーマンスレポート（2020年7月）

## 金融・経済全般（ 7月 ）

2020年6月の鉱工業生産指数は前月比+2.7%、在庫は−2.4%となりました。製造工業生産予測調査によると、生産は2020年7月に前月比+11.3%の後、2020年8月は同+3.4%が見込まれています。
2020年6月の全国消費者物価指数（除く生鮮食品）は前年同月と同水準となりました。食料およびエネルギーを除く指数は、前年同月比+0.4%となりました。2020年7月の東京都区部の消費者物価指数（除く生鮮食品）は、前年同月比+0.4%となりました。
日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続しました。

## 特別勘定のユニット価格騰落率　（ 2020/7/31 現在 ）

| | 特別勘定名 | ユニット価格 20/7/31現在 | 騰落率 直近1ヶ月 | 直近3ヶ月 | 直近6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 | 設定日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| バランス型/ライフスタイル・ポートフォリオ | 積極成長型 ライフスタイル・ポートフォリオ | 132.4117 | 1.15% | 4.60% | −4.95% | −0.73% | 2.57% | 32.41% | 2002/2/5 |
| | 安定成長型 ライフスタイル・ポートフォリオ | 125.8508 | 0.99% | 3.17% | −1.72% | 1.25% | 4.11% | 25.85% | 2002/2/27 |
| | 堅実成長型 ライフスタイル・ポートフォリオ | 119.6161 | 0.43% | 1.13% | −0.78% | 0.56% | 1.79% | 19.62% | 2002/2/12 |
| 国内株式型 | 日本成長株ファンド | 216.0406 | −0.85% | 8.30% | −3.15% | 7.89% | 3.52% | 116.04% | 2003/1/28 |
| 世界株式型 | グローバル・ファンド | 291.7642 | 3.36% | 10.99% | −2.27% | 4.88% | 17.05% | 191.76% | 2003/1/23 |
| 世界債券型 | グローバル・ボンド・ファンド | 123.9019 | 0.68% | 3.25% | 1.28% | 2.98% | 1.47% | 23.90% | 2003/1/21 |
| | USショートターム・ファンド | 83.2329 | −2.96% | −2.51% | −4.37% | −4.46% | −6.60% | −16.77% | 2003/1/28 |
| 債券型 | 元本確保型特別勘定 | （該当ページにおいて、積立金額計算用利率の推移をご参照ください） | | | | | | | |

＊ユニット価格は小数点第5位以下を切捨て、騰落率は小数点第3位以下を四捨五入して表示しています。
＊上表の騰落率は、それぞれの月数をさかのぼった該当月の月末日付ユニット価格に対して、当月末付のユニット価格がどれくらい変動したかを計算したものです。ユニット価格とは、各特別勘定1ユニット（1口）あたりの価格のことを言い、単位は円です。設定日におけるユニット価格はいずれの特別勘定も100円です。

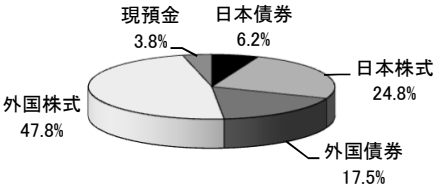

・当資料は、当社の変額個人年金保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。
・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。
・上記の表は過去の実績を示したものであり、現在または将来の運用成績・内容を保証またはあらわすものではありません。
・投資信託を主たる投資対象とする特別勘定の運用レポートには、各運用会社よりマニュライフ生命に提供される情報が掲載されますが、その部分の内容に関してはマニュライフ生命は一切の責任を負いません。
・「マニュソリューション」の商品内容の詳細については、商品パンフレット、「ご契約の概要」「注意喚起情報」「重要事項のお知らせ/ご契約のしおり/約款」「特別勘定のしおり」等にてご確認ください。

## 1.ライフスタイル・ポートフォリオ（積極成長・安定成長・堅実成長型）の状況 （2020年7月末現在）

### 運用方針、資産構成比（月平均・小数点第2位以下四捨五入）及び運用状況

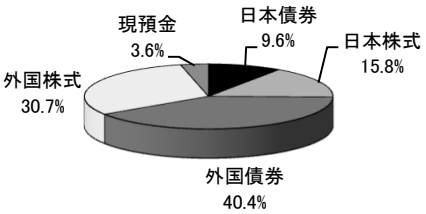
資産配分および各資産の運用は、基本方針通りに行われました。組入れている外国証券は為替ヘッジを行っているため、為替変動の影響はほとんどありません。

**積極成長型**



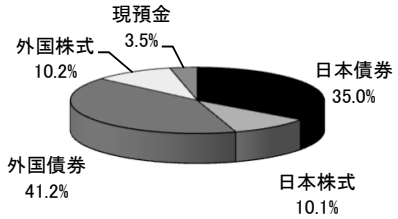

ユニット価格の騰落率は、1.15%（対前月末比）のプラスとなりました。これは、外国債券および外国株式が堅調に推移したことによります。

**安定成長型**

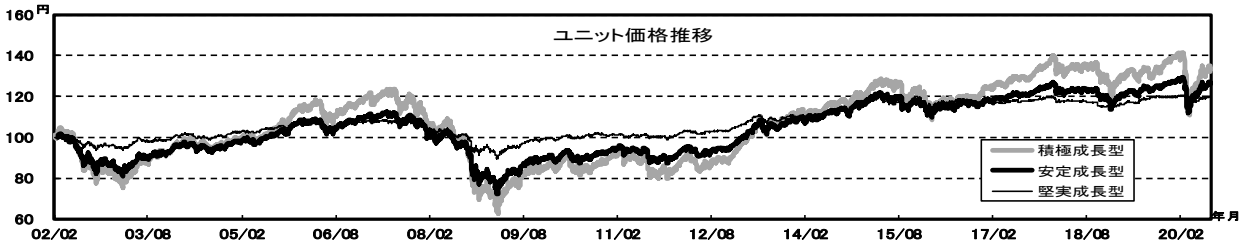



ユニット価格の騰落率は、0.99%（対前月末比）のプラスとなりました。これは、外国債券および外国株式が堅調に推移したことによります。

**堅実成長型**




ユニット価格の騰落率は、0.43%（対前月末比）のプラスとなりました。これは、外国債券および外国株式が堅調に推移したことによります。




### ＜主たる投資対象となる投資信託の運用レポート＞

**運用会社**　マニュライフ・インベストメント・マネジメント株式会社

**投資信託名**　マニュライフ・日本株式インデックスファンド（適格機関投資家専用）、マニュライフ・日本債券インデックスファンド（適格機関投資家専用）、マニュライフ・外国株式インデックスファンド/ヘッジあり（適格機関投資家専用）、マニュライフ・外国債券インデックスファンド/ヘッジあり（適格機関投資家専用）

### コメント （2020年7月）

**【株式市場】**

2020年7月の日本株式市場は、新型コロナウイルスの感染者数の漸増傾向に、景気の先行き不透明感が改めて意識され、軟調な推移となりました。

上旬は、新型コロナウイルス感染者数増加の第2派を巡る警戒感から、株価は下落して始まりました。その後、米国景気の回復を示唆する経済指標の発表が相次ぐと、上昇する場面もありましたが、米国の複数の州で新型コロナウイルス感染の再拡大が示されると、経済活動正常化への道筋に不透明感が強まり、株価は反落となりました。

中旬は、新型コロナウイルスのワクチン開発期待から、株価は上昇に転じました。しかし、国内外で新型コロナウイルスの感染拡大に勢いが増していることや、米国で香港自治法が成立し、米中対立激化への懸念が強まったことが、株価の重しとなりました。

下旬は、国内新規感染者数の漸増傾向が続くなか、米国金融緩和政策の長期化観測を背景に円高が進展したことや、2020年4～6月期の決算発表で通期業績見通しの悪化が散見されたことから、景気の先行き不透明感が改めて意識され、株価は下落基調を辿りました。

結局、7月の日本株式市場インデックス（TOPIX（東証株価指数）／配当込み）は、前月末比-4.02%の下落で当月を終えました。

騰落率上位は、情報・通信業、電気機器、証券・商品先物取引、非鉄金属、小売業でした。下位は、陸運業、空運業、不動産業、ゴム製品、電気・ガス業でした。

7月の海外株式市場インデックス（MSCI-KOKUSAI インデックス（税引前配当金再投資・円ヘッジ・円ベース））は+4.87%と上昇しました。

米国株式は、新型コロナウイルスの感染第2波への懸念や米中対立が株価の重しとなる局面もありましたが、雇用・景況感関連の堅調な経済指標や新型コロナウイルスワクチンの開発への期待などにより月間で上昇しました。英国株式は、新型コロナウイルスの感染第2波への懸念のほか、エネルギー銘柄や金融銘柄の軟調な業績発表などにより、下落しました。欧州株式は、中旬にEU（欧州連合）首脳による新型コロナウイルス対策の大規模な復興基金創設の合意を背景に上昇しましたが、月末にドイツの第2四半期GDP（国内総生産）成長率の予想以上の悪化などを受けて下落し、月間では小幅下落しました。

**【債券市場】**

10年国債利回りは、新型コロナウイルス感染の再拡大に対する懸念が高まったことなどから、前月末の+0.03%から当月末には+0.02%と小幅に低下しました。イールドカーブ上はブルフラットとなりました。

日本債券市場インデックス（NOMURA-BPI総合）の収益率は+0.35%となりました。外国債券市場インデックス（FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり、円ベース））の収益率は+1.00%となりました。

### マニュライフ・日本株式インデックスファンド （適格機関投資家専用）

**◆組入上位10業種（マザーファンド）**

| | 業種名 | 組入比率 |
|---|---|---|
| 1 | 電気機器 | 15.77% |
| 2 | 情報・通信業 | 10.80% |
| 3 | 化学 | 7.23% |
| 4 | 輸送用機器 | 7.04% |
| 5 | 医薬品 | 6.85% |
| 6 | 機械 | 5.40% |
| 7 | サービス業 | 5.24% |
| 8 | 小売業 | 5.07% |
| 9 | 銀行業 | 4.82% |
| 10 | 卸売業 | 4.49% |

*比率は現物株式評価額に対する割合です。

**◆組入上位10銘柄（マザーファンド）**　（組入銘柄数:　2,072　銘柄）

| | 銘柄名 | 業種名 | 組入比率 |
|---|---|---|---|
| 1 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 3.21% |
| 2 | ソフトバンクグループ | 情報・通信業 | 2.37% |
| 3 | ソニー | 電気機器 | 2.34% |
| 4 | キーエンス | 電気機器 | 1.86% |
| 5 | 日本電信電話 | 情報・通信業 | 1.48% |
| 6 | 武田薬品工業 | 医薬品 | 1.44% |
| 7 | 任天堂 | その他製品 | 1.32% |
| 8 | 第一三共 | 医薬品 | 1.23% |
| 9 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 1.23% |
| 10 | ダイキン工業 | 機械 | 1.10% |

*比率は純資産総額に対する割合です。

## マニュライフ・日本債券インデックスファンド（適格機関投資家専用）

### ◆ファンドの特性等（マザーファンド）

**◎種別配分**

| 種別 | 組入比率 |
|---|---|
| 国債 | 82.61% |
| 地方債 | 6.81% |
| 政府保証債 | 2.85% |
| 金融債 | 0.80% |
| 事業債 | 5.74% |
| その他 | 0.81% |

*比率は純資産総額に対する割合です。

**◎残存別組入比率**

| 期間 | 組入比率 |
|---|---|
| ３年未満 | 16.11% |
| ３～７年 | 29.12% |
| ７～１１年 | 17.12% |
| １１年超 | 37.65% |

*比率は純資産総額に対する割合です。

**◎利回り・デュレーション・平均残存期間**

| | |
|---|---|
| 最終利回り | 0.08% |
| 直接利回り | 1.02% |
| 修正デュレーション | 9.37 |
| 平均残存年数 | 10.01　年 |

*数値は、債券現物部分について計算しています。

**◎組入上位10銘柄**　（組入銘柄数：　104 銘柄）

| | 銘柄名 | 種別 | クーポン | 償還日 | 組入比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第148回利付国債（20年） | 国債 | 1.500% | 2034/3/20 | 3.32% |
| 2 | 第358回利付国債（10年） | 国債 | 0.100% | 2030/3/20 | 3.00% |
| 3 | 第351回利付国債（10年） | 国債 | 0.100% | 2028/6/20 | 2.86% |
| 4 | 第333回利付国債（10年） | 国債 | 0.600% | 2024/3/20 | 2.48% |
| 5 | 第326回利付国債（10年） | 国債 | 0.700% | 2022/12/20 | 2.46% |
| 6 | 第29回利付国債（30年） | 国債 | 2.400% | 2038/9/20 | 2.09% |
| 7 | 第190回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 政保債 | 0.605% | 2023/5/31 | 2.04% |
| 8 | 第2回利付国債（30年） | 国債 | 2.400% | 2030/2/20 | 1.99% |
| 9 | 第95回利付国債（20年） | 国債 | 2.300% | 2027/6/20 | 1.88% |
| 10 | 第334回利付国債（10年） | 国債 | 0.600% | 2024/6/20 | 1.65% |

*比率は純資産総額に対する割合です。

## マニュライフ・外国株式インデックスファンド/ヘッジあり（適格機関投資家専用）

### ◆国別配分／業種配分／組入銘柄（マザーファンド）

**◎国別配分上位10ヵ国**

| | 国名 | 組入比率 |
|---|---|---|
| 1 | アメリカ | 71.24% |
| 2 | イギリス | 4.68% |
| 3 | フランス | 3.64% |
| 4 | カナダ | 3.51% |
| 5 | スイス | 3.48% |
| 6 | ドイツ | 3.21% |
| 7 | オーストラリア | 2.32% |
| 8 | オランダ | 1.56% |
| 9 | スウェーデン | 1.10% |
| 10 | 香港 | 1.02% |

*比率は現物株式（ワラントを含む）評価額に対する割合です。
*国名は投資対象銘柄の主要取引所国を表しています。

**◎組入上位10業種**

| | 業種名 | 組入比率 |
|---|---|---|
| 1 | 情報技術 | 22.36% |
| 2 | ヘルスケア | 13.89% |
| 3 | 金融 | 12.78% |
| 4 | 一般消費財・サービス | 11.03% |
| 5 | 資本財・サービス | 9.48% |
| 6 | 生活必需品 | 8.60% |
| 7 | コミュニケーション・サービス | 8.05% |
| 8 | 素材 | 4.40% |
| 9 | 公益事業 | 3.53% |
| 10 | エネルギー | 3.23% |

*比率は現物株式（ワラントを含む）評価額に対する割合です。

**◎組入上位10銘柄**　（組入銘柄数：　1,298　銘柄）

| | 銘柄名 | 国名 | 業種名 | 組入比率 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | APPLE INC | アメリカ | 情報技術 | 3.61% |
| 2 | MICROSOFT CORP | アメリカ | 情報技術 | 3.16% |
| 3 | AMAZON.COM INC | アメリカ | 一般消費財・サービス | 2.77% |
| 4 | FACEBOOK INC-A | アメリカ | コミュニケーション・サービス | 1.21% |
| 5 | ALPHABET INC-CL C | アメリカ | コミュニケーション・サービス | 1.01% |
| 6 | ALPHABET INC-CL A | アメリカ | コミュニケーション・サービス | 0.99% |
| 7 | JOHNSON & JOHNSON | アメリカ | ヘルスケア | 0.83% |
| 8 | NESTLE SA-REG | スイス | 生活必需品 | 0.77% |
| 9 | VISA INC-CLASS A SHARES | アメリカ | 情報技術 | 0.71% |
| 10 | PROCTER & GAMBLE CO | アメリカ | 生活必需品 | 0.70% |

*比率は純資産総額に対する割合です。
*国名は投資対象銘柄の主要取引所国を表しています。

## マニュライフ・外国債券インデックスファンド/ヘッジあり（適格機関投資家専用）

### ◆ファンドの特性等（マザーファンド）

**◎国別配分**

| | 国名 | 組入比率 |
|---|---|---|
| 1 | アメリカ | 44.51% |
| 2 | フランス | 10.44% |
| 3 | イタリア | 9.43% |
| 4 | ドイツ | 7.75% |
| 5 | イギリス | 6.63% |
| 6 | その他 | 21.25% |

*比率は現物債券評価額に対する割合です。

**◎通貨別配分**

| 通貨名 | 組入比率 |
|---|---|
| 日本円 | 98.95% |
| 米ドル | 0.47% |
| ユーロ | 0.50% |
| 英ポンド | 0.04% |
| カナダ・ドル | 0.01% |
| その他 | 0.03% |

*比率は「外貨建て純資産-為替ヘッジ」で計算しており、通貨別にみた為替ヘッジ後の実質比率です。

**◎利回り・デュレーション・平均残存期間**

| | |
|---|---|
| 最終利回り | 0.26% |
| 直接利回り | 2.25% |
| 修正デュレーション | 8.16 |
| 平均残存年数 | 8.77　年 |

*数値は、債券現物部分について計算しています。

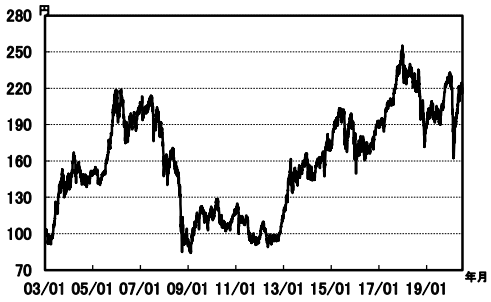
**◎組入上位10銘柄**　（組入銘柄数：　427 銘柄）

| | 銘柄名 | 種別 | クーポン | 償還日 | 国名 | 組入比率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | US TREASURY N/B | 国債 | 3.875% | 2040/8/15 | アメリカ | 1.40% |
| 2 | US TREASURY N/B | 国債 | 1.375% | 2023/8/31 | アメリカ | 1.12% |
| 3 | US TREASURY N/B | 国債 | 2.375% | 2029/5/15 | アメリカ | 1.04% |
| 4 | US TREASURY N/B | 国債 | 2.750% | 2023/5/31 | アメリカ | 1.02% |
| 5 | FRANCE (GOVT OF) | 国債 | 4.750% | 2035/4/25 | フランス | 0.94% |
| 6 | US TREASURY N/B | 国債 | 2.250% | 2025/11/15 | アメリカ | 0.89% |
| 7 | US TREASURY N/B | 国債 | 3.125% | 2044/8/15 | アメリカ | 0.85% |
| 8 | BUONI POLIENNALI DEL TES | 国債 | 6.000% | 2031/5/1 | イタリア | 0.83% |
| 9 | TSY 4 1/2% 2042 | 国債 | 4.500% | 2042/12/7 | イギリス | 0.81% |
| 10 | US TREASURY N/B | 国債 | 2.125% | 2021/9/30 | アメリカ | 0.80% |

*比率は純資産総額に対する割合です。

## 2.積極成長型日本株式（A）

日本成長株ファンドの状況 （2020年7月末現在）




**特別勘定の平均資産構成比**

投資信託　96.3%　　現預金　3.7%

**組入上位10銘柄** （マザーファンド・ベース） （2020年6月30日現在）

| | 銘 柄 | 業 種 | 比率 |
|---|---|---|---|
| 1 | ﾐｽﾐｸﾞﾙｰﾌﾟ本社 | 卸売業 | 4.4% |
| 2 | ｷｰｴﾝｽ | 電気機器 | 4.1% |
| 3 | 三浦工業 | 機械 | 3.6% |
| 4 | ｵﾘﾝﾊﾟｽ | 精密機器 | 3.2% |
| 5 | ｼﾏﾉ | 輸送用機器 | 3.0% |
| 6 | ｿﾌﾄﾊﾞﾝｸｸﾞﾙｰﾌﾟ | 情報・通信業 | 2.3% |
| 7 | ﾀﾞｲｷﾝ工業 | 機械 | 2.3% |
| 8 | Zﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ | 情報・通信業 | 2.1% |
| 9 | ﾏｷﾀ | 機械 | 2.1% |
| 10 | 島津製作所 | 精密機器 | 2.0% |

（ 組入銘柄数 ： 259 ）　上位10銘柄合計　29.2%

（対純資産総額比率）

## ＜主たる投資対象となる投資信託の運用レポート＞

| | |
|---|---|
| 運用会社 | フィデリティ投信株式会社 |
| 投資信託名 | フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3（適格機関投資家専用） |
| 純資産総額 | 890.8 億円　（2020年7月31日現在） |

**コメント(2020年7月31日現在)**

当月の東京株式市場は、新型コロナウイルスの新規感染者数の拡大が続いていることが警戒され、下落しました。

大幅に悪化した日銀短観や香港を巡る米中対立などから軟調に始まりましたが、米中経済指標の改善や中国株の急伸などを受けて投資家心理が改善すると、買い戻しの動きが広がりました。新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まる場面もありましたが、米国でコロナのワクチン開発が進展したと伝わると、経済活動の正常化を見越した買いが入り、月半ばにかけて株価は再び上昇しました。月後半は、国内にて新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に歯止めがかからない中、米中双方が相手の総領事館の閉鎖を要求するなど米中対立が激化したことや、為替市場において円高ドル安が進むなどの悪材料が重なり、月末にかけて株価は下げ足を速める展開となりました。月最終日は、一時1ドル104円台まで進んだ円高や、国内企業の低調な業績見通しなどが嫌気されて大きな下落に見舞われ、日経平均株価は22,000円を割り込んで月を終えました。

月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が－4.02%、日経平均株価は－2.59%でした。

**累積リターン** （2020年7月31日現在）

| | 直近1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド | −0.69% | 9.31% | −1.86% | 10.97% | 11.84% | 140.62% |
| ベンチマーク | −4.02% | 2.32% | −9.94% | −1.94% | −0.84% | 98.53% |

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

**ポートフォリオの状況** （マザーファンド・ベース） （2020年6月30日現在）

資産別組入状況

| | |
|---|---|
| 株式 | 97.4% |
| 新株予約権証券(ﾜﾗﾝﾄ) | − |
| 投資信託・投資証券 | − |
| 現金・その他 | 2.6% |

市場別組入状況

| | |
|---|---|
| 東証1部 | 94.8% |
| 東証2部 | 0.4% |
| ｼﾞｬｽﾀﾞｯｸ | 0.5% |
| その他市場 | 1.6% |

組入上位5業種

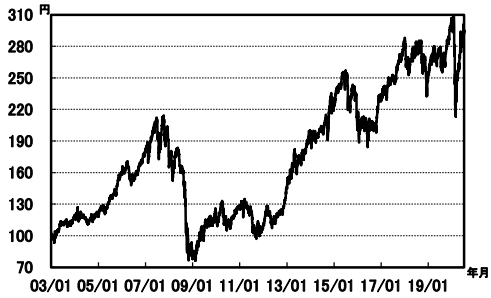
| | |
|---|---|
| 電気機器 | 21.6% |
| 情報・通信業 | 14.3% |
| 機械 | 13.8% |
| 精密機器 | 7.5% |
| サービス業 | 6.4% |

（対純資産総額比率）

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
＊業種は東証33業種に準じて表示しています。
＊未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

## 3.積極成長型外国株式（A）

グローバル・ファンドの状況 （2020年7月末現在）




**特別勘定の平均資産構成比**

投資信託　96.4%　　現預金　3.6%

**組入上位10銘柄** （ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ・ﾍﾞｰｽ） （2020年6月30日現在）

| | 銘 柄 | 国・地域※ | 業 種 | 比率 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | マイクロソフト | アメリカ | ｿﾌﾄｳｪｱ・ｻｰﾋﾞｽ | 2.5% |
| 2 | アップル | アメリカ | ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾊｰﾄﾞｳｪｱ及び機器 | 2.4% |
| 3 | ﾕﾅｲﾃｯﾄﾞﾍﾙｽ・ｸﾞﾙｰﾌﾟ | アメリカ | ﾍﾙｽｹｱ機器・ｻｰﾋﾞｽ | 1.9% |
| 4 | RWE | ドイツ | 公益事業 | 1.7% |
| 5 | ﾃﾚﾌｫﾅｸﾃｨｰﾎﾞﾗｰｸﾞLMｴﾘｸｿﾝ | ｽｳｪｰﾃﾞﾝ | ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾊｰﾄﾞｳｪｱ及び機器 | 1.7% |
| 6 | アマゾン・ドット・コム | アメリカ | 小売 | 1.6% |
| 7 | アルファベット | アメリカ | ﾒﾃﾞｨｱ・娯楽 | 1.5% |
| 8 | ネスレ | スイス | 食品・飲料・ﾀﾊﾞｺ | 1.4% |
| 9 | バークシャー・ハサウェイ | アメリカ | 各種金融 | 1.4% |
| 10 | ナスパーズ | 南ｱﾌﾘｶ | 小売 | 1.3% |

（ 組入銘柄数 ： 105 ）　上位10銘柄合計　17.5%

（対純資産総額比率）

## ＜主たる投資対象となる投資信託の運用レポート＞

| | |
|---|---|
| 運用会社 | フィデリティ投信株式会社 |
| 投資信託名 | フィデリティ・グローバル・ファンドVA3（適格機関投資家専用） |
| 純資産総額 | 13.2 億円　（2020年7月31日現在） |

**コメント(2020年7月31日現在)**

世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で＋3.42%。

【米国株式】月間騰落率は、S&P500種指数が＋5.51%、ダウ工業株30種平均は＋2.38%、ナスダック指数は＋6.82%。米国株式相場は上昇しました。米国株式は経済の回復期待から続伸しました。新型コロナウイルスはカリフォルニア州やフロリダ州、アリゾナ州などにおいて新規感染が拡大し、経済活動を再び制限する動きが広がりました。また、米国と中国が互いの総領事館を閉鎖する事態となり、米中の対立激化も懸念されました。しかし、新規雇用者数が大幅に増加して雇用環境が回復したほか、景況感指数や住宅関連指標が改善するなど、良好な経済指標が相次ぎました。さらに、新型コロナの治療薬やワクチン開発の進展が報じられ、経済正常化への期待が広がりました。このような市場環境のなか、テクノロジー株にけん引されてナスダック指数が過去最高値を更新したほか、消費関連株や素材株も堅調となるなど、米国株式は幅広い業種で上昇しました。

【欧州株式】MSCIヨーロッパ・インデックスの月間騰落率は－1.42%。月上旬は、発表された欧州域内の経済指標が市場予想を上回ったことや米国株式市場の堅調な動きを背景に上昇しました。米国ナスダック総合指数が高値圏で推移したことを受けて、欧州株式市場でもテクノロジー株が物色されました。月中旬は、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展に関するニュースが続いたことやEU首脳会議で復興基金が合意するとの期待などから堅調に推移しました。月下旬は、米中対立への懸念やスペインで再び新型コロナ感染者数が増加したことを受け下落しました。発表されたドイツの4－6月期実質GDP成長率(速報値)が予想以上の落ち込みとなり、改めて景気悪化が意識されたことも嫌気されました。

【アジア株式】MSCI AC ファー・イースト・インデックス（除く日本）の月間騰落率は＋8.01%。中国は上昇しました。中国の経済指標改善や新型コロナのワクチン開発の進展に加え、米国におけるテクノロジー関連株の堅調推移などを背景に上昇しました。

【日本株式】TOPIX（配当込）は－4.02%。当月の東京株式市場は、新型コロナウイルスの新規感染者数の拡大が続いていることが警戒され、下落しました。

大幅に悪化した日銀短観や香港を巡る米中対立などから軟調に始まりましたが、米中経済指標の改善や中国株の急伸などを受けて投資家心理が改善すると、買い戻しの動きが広がりました。新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まる場面もありましたが、米国でコロナのワクチン開発が進展したと伝わると、経済活動の正常化を見越した買いが入り、月半ばにかけて株価は再び上昇しました。月後半は、国内にて新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に歯止めがかからない中、米中双方が相手の総領事館の閉鎖を要求するなど米中対立が激化したことや、為替市場において円高ドル安が進むなどの悪材料が重なり、月末にかけて株価は下げ足を速める展開となりました。月最終日は、一時1ドル104円台まで進んだ円高や、国内企業の低調な業績見通しなどが嫌気されて大きな下落に見舞われ、日経平均株価は22,000円を割り込んで月を終えました。

【為替】米ドル／円相場は、約2.00%の円高（1米ドル＝107.89円→105.73円）。
ユーロ／円相場は、約3.18%の円安（1ユーロ＝121.17円→125.03円）。
（※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。）

**累積リターン** （2020年7月31日現在）

| | 直近1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド | 3.66% | 11.61% | −2.01% | 6.47% | 23.84% | 250.60% |
| ベンチマーク | 2.72% | 11.63% | −2.79% | 4.99% | 20.94% | 253.61% |

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ ベンチマーク：MSCIワールド・インデックス（税引前配当金込／円ベース）

**ポートフォリオの状況** （ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ・ﾍﾞｰｽ） （2020年6月30日現在）

資産別組入状況

| | |
|---|---|
| 株式（実質） | 93.6% |
| うち現物 | 93.6% |
| うち先物 | − |
| 投資信託・投資証券 | 1.8% |
| 現金・その他 | 4.6% |

組入上位5業種

| | |
|---|---|
| テクノロジー・ハードウェア及び機器 | 10.7% |
| 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 9.0% |
| メディア・娯楽 | 8.7% |
| ソフトウェア・サービス | 7.9% |
| 各種金融 | 7.1% |

組入上位5ヶ国・地域

| | |
|---|---|
| アメリカ | 45.7% |
| ドイツ | 5.8% |
| 日本 | 5.2% |
| イギリス | 4.5% |
| スイス | 4.1% |

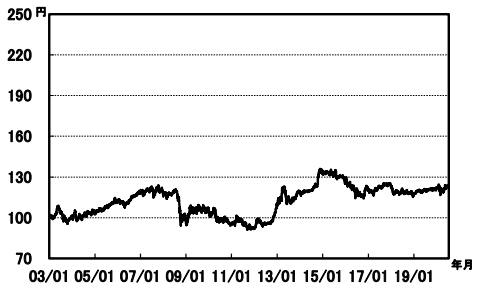
※国・地域は発行国・地域を表示しています。

（対純資産総額比率）

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
＊業種はMSCI/S&P GICS※に準じて表示しています。
※MSCI/S&P GICSとは、ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ&ﾌﾟｱｰｽﾞがMSCI Inc.と共同で作成した世界産業分類基準（Global Industry Classification Standard =GICS）です。

## 4. 安定成長型外国債券（C）

ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ﾎﾞﾝﾄﾞ･ﾌｧﾝﾄﾞの状況 （2020年7月末現在）




特別勘定の平均資産構成比

投資信託　96.4%　　現預金　3.6%

## ＜主たる投資対象となる投資信託の運用レポート＞

| | |
|---|---|
| 運用会社 | 三菱UFJ国際投信株式会社 |
| 投資信託名 | グローバル・ソブリン・オープン VA（適格機関投資家専用） |
| 純資産総額 | 10.89 億円　（2020年7月31日現在） |

### コメント(2020年7月31日現在)

<投資環境と運用状況>
債券市場では、主要国の長期金利は低下しました。米国では、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念などから、長期金利は低下しました。欧州では、経済活動が再開されているものの、新型コロナウイルス感染に伴う域内経済や世界経済の低迷などが懸念されたことから、ドイツの長期金利は低下しました。英国では、景気減速懸念や欧州連合(EU)離脱に伴う貿易協定締結の不透明感などから、長期金利は低下しました。
為替市場では、主要国の通貨は対円でまちまちな動きでした。米ドルは、新型コロナウイルス感染の再拡大などから米国景気の減速懸念が高まり、円に対して下落しました。ユーロは、EUとして欧州復興基金の創設で合意するなど財政拡大の連携強化に取り組むことなどからEUの関係強化の期待が高まり、円に対して上昇しました。英ポンドは、ユーロが主要通貨に対して上昇するなど欧州通貨全般に強気な見方が広がり、円に対して上昇しました。
<今後の運用方針>
債券戦略では、マイナス金利政策を継続しているユーロ圏について長期債やスペイン国債などの保有を多めとし、金融緩和政策が続く日本では長期債中心に保有することで、ポートフォリオのインカム向上を目指します。
為替戦略では、円を低めに維持する一方、利息収入が期待できる米ドルや財政政策で連携強化が見られる欧州で周辺国通貨を含めた欧州通貨の配分を高めに維持します。

### ■騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド | 0.9% | 3.8% | 2.2% | 4.9% | 6.8% | 72.6% |
| ベンチマーク | 0.9% | 3.5% | 2.9% | 5.6% | 8.5% | 85.2% |
| 差 | −0.1% | 0.3% | −0.8% | −0.7% | −1.7% | −12.6% |

・基準価額は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（円ベース、日本を含む）です。
・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、ファンドの騰落率は分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

### ■資産構成

| | 比率 |
|---|---|
| 債券 | 96.8% |
| 内 現物 | 96.8% |
| 内 先物 | 0.0% |
| コールローン他 | 3.2% |

### ■組入通貨

| | 通貨 | 比率 |
|---|---|---|
| 1 | 米ドル | 40.6% |
| 2 | ユーロ | 30.8% |
| 3 | 日本円 | 7.5% |
| 4 | 英ポンド | 4.1% |
| | その他 | 17.0% |

・為替予約等を含めた実質的な比率です。

### ■残存期間別組入比率

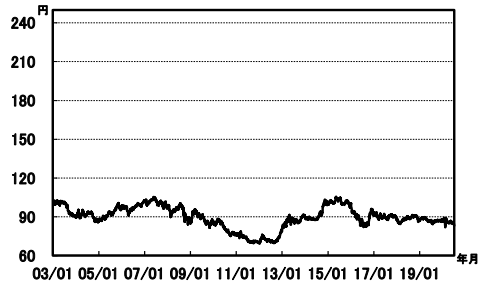
| 残存期間 | 比率 |
|---|---|
| ３年未満 | 19.0% |
| ３～５年 | 7.8% |
| ５～７年 | 16.1% |
| ７～１０年 | 21.9% |
| １０年以上 | 35.3% |

### ■組入上位10銘柄

| | 銘柄 | 通貨 | クーポン | 残存年数 | 比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | アメリカ国債 | 米ドル | 3.6250% | 23.5年 | 5.7% |
| 2 | アメリカ国債 | 米ドル | 3.1250% | 24.0年 | 4.0% |
| 3 | アメリカ国債 | 米ドル | 8.7500% | 0.0年 | 3.7% |
| 4 | 欧州投資銀行 | ポーランドズロチ | 4.2500% | 2.2年 | 2.2% |
| 5 | スペイン国債 | ユーロ | 2.9000% | 26.3年 | 2.1% |
| 6 | 第171回利付国債(20年) | 日本円 | 0.3000% | 19.4年 | 2.1% |
| 7 | スペイン国債 | ユーロ | 5.9000% | 6.0年 | 2.0% |
| 8 | アメリカ国債 | 米ドル | 1.7500% | 1.0年 | 1.8% |
| 9 | フランス国債 | ユーロ | 1.2500% | 13.8年 | 1.7% |
| 10 | 第172回利付国債(20年) | 日本円 | 0.4000% | 19.6年 | 1.7% |

## 5. 堅実成長型外国債券（A）

USｼｮｰﾄﾀｰﾑ･ﾌｧﾝﾄﾞの状況 （2020年7月末現在）




特別勘定の平均資産構成比

投資信託　96.9%　　現預金　3.1%

## ＜主たる投資対象となる投資信託の運用レポート＞

| | |
|---|---|
| 運用会社 | 野村アセットマネジメント株式会社 |
| 投資信託名 | ノムラ米国短期インカムオープンVA（適格機関投資家専用） |
| 純資産総額 | 14.0 億円（2020年7月31日現在） |

| ポートフォリオの内訳 | |
|---|---|
| 資産 | 純資産比 |
| 外国債券 | 90.2% |
| 現金その他 | 9.8% |
| 合計 | 100.0% |

| 格付別資産配分 | |
|---|---|
| 資産 | 純資産比 |
| 外国債券 | 90.2% |
| A−1格 | 90.2% |
| その他格付 | − |
| 無格付 | − |
| 現金その他 | 9.8% |
| 合計 | 100.0% |

＊格付は、格付機関の格付を採用しています。

| 騰落率 | |
|---|---|
| 期間 | ファンド |
| 1年 | −2.5% |
| 2年 | −1.4% |
| 3年 | −0.4% |
| 5年 | −2.5% |

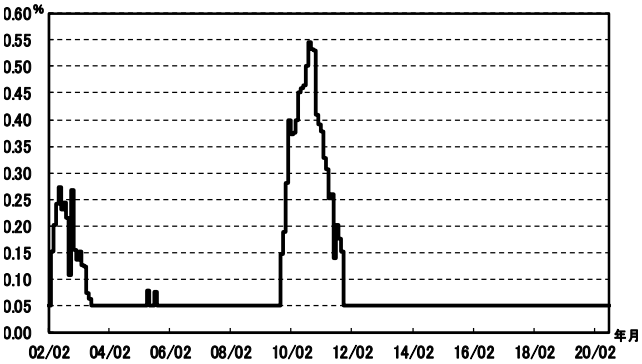
| | |
|---|---|
| 設定来 | 7.0% |

設定来 ＝ 2001年9月27日　以降

| 平均残存日数 | |
|---|---|
| ポートフォリオの平均残存日数 | 84 日 |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。
2年～5年の騰落率は年率平均(複利ベース)

## 6. 元本確保型特別勘定の状況　（2020年7月末現在）




### 特別勘定の平均資産構成比

投資信託　3.0%　　現預金　　97.0%

### 運用概況

引き続き安定した積立金額計算用利率の提供を図りました。

### 積立金額計算用利率の推移

＊積立金額計算用利率: 元本確保型の積立金額を計算する為の利率のことをいい、元本確保型の特別勘定資産の平均利回りなどに基づき、毎月更改されます。

| 利率適用期間 | 計算用利率 | 利率適用期間 | 計算用利率 | 利率適用期間 | 計算用利率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2002年1月 | 0.050% | 2007年1月 | 0.05% | 2012年1月 | 0.05% |
| 2月 | 0.050% | 2月～12月 | 0.05% | 2月～12月 | 0.05% |
| 3月 | 0.153% | 2008年1月 | 0.05% | 2013年1月 | 0.05% |
| 4月 | 0.201% | 2月～12月 | 0.05% | 2月～12月 | 0.05% |
| 5月 | 0.241% | 2009年1月 | 0.05% | 2014年1月 | 0.05% |
| 6月 | 0.273% | 2月～9月 | 0.05% | 2月～12月 | 0.05% |
| 7月 | 0.232% | 10月 | 0.15% | 2015年1月 | 0.05% |
| 8月 | 0.244% | 11月 | 0.19% | 2月～12月 | 0.05% |
| 9月 | 0.215% | 12月 | 0.28% | 2016年1月 | 0.05% |
| 10月 | 0.107% | 2010年1月 | 0.40% | 2月～12月 | 0.05% |
| 11月 | 0.268% | 2月 | 0.37% | 2017年1月 | 0.05% |
| 12月 | 0.154% | 3月 | 0.38% | 2月～12月 | 0.05% |
| 2003年1月 | 0.136% | 4月 | 0.40% | 2018年1月 | 0.05% |
| 2月 | 0.152% | 5月 | 0.45% | 2月～12月 | 0.05% |
| 3月 | 0.126% | 6月 | 0.46% | 2019年1月 | 0.05% |
| 4月 | 0.123% | 7月 | 0.47% | 2月～12月 | 0.05% |
| 5月 | 0.073% | 8月 | 0.50% | 2020年1月 | 0.05% |
| 6月 | 0.065% | 2010年9月 | 0.55% | 2020年2月 | 0.05% |
| 7月～12月 | 0.050% | 10月 | 0.53% | 2020年3月 | 0.05% |
| 2004年1月 | 0.050% | 11月 | 0.53% | 2020年4月 | 0.05% |
| 2月～12月 | 0.050% | 12月 | 0.41% | 2020年5月 | 0.05% |
| 2005年1月 | 0.050% | 2011年1月 | 0.39% | 2020年6月 | 0.05% |
| 2月～4月 | 0.050% | 2月 | 0.38% | 2020年7月 | 0.05% |
| 5月 | 0.080% | 3月 | 0.33% | | |
| 6月 | 0.050% | 4月 | 0.31% | | |
| 7月 | 0.050% | 5月 | 0.25% | | |
| 8月 | 0.077% | 6月 | 0.26% | | |
| 9月 | 0.050% | 7月 | 0.14% | | |
| 10月 | 0.050% | 8月 | 0.20% | | |
| 11月 | 0.050% | 9月 | 0.18% | | |
| 12月 | 0.050% | 10月 | 0.15% | | |
| 2006年1月 | 0.050% | 11月 | 0.05% | | |
| 2月～12月 | 0.050% | 12月 | 0.05% | | |

## ＜主たる投資対象となる投資信託の運用レポート＞

**運用会社**　マニュライフ・インベストメント・マネジメント株式会社

**投資信託名**　マニュライフ・インカム・ソリューション・ファンド（適格機関投資家専用）

**コメント(2020年7月)**

10年国債利回りは、新型コロナウイルス感染の再拡大に対する懸念が高まったことなどから、前月末の+0.03%から当月末には+0.02%と小幅に低下しました。イールドカーブ上はブルフラットとなりました。
日本債券市場インデックス（NOMURA-BPI総合）の収益率は+0.35%となりました。

**運用資産詳細**（2020年7月末現在）

《種類別構成比》

| 種類 | 構成比 |
|---|---|
| 国債 | 0.00% |
| 地方債 | 0.00% |
| 政府保証債 | 22.21% |
| 金融債 | 0.00% |
| 事業債 | 0.00% |
| 円建外債 | 0.00% |
| その他 | 0.00% |

※ファンドの純資産総額比です。

《期間別構成比》

| 期間 | 構成比 |
|---|---|
| 短期債（3年未満） | 100.0% |
| 中期債（3～7年未満） | 0.0% |
| 長期債（7年以上） | 0.0% |

組入銘柄数1

※ファンドの純資産総額比です。
（短期債の構成比には、現預金等を含む）